

## 2021年2月13日 福島県沖を震源とする地震に関する調査

2021年3月



## 1. 調査実施の概要

- 調査地域 宮城県・福島県
- 調査方法 インターネット調査(インターネットリサーチモニターに対するクローズド調査)
- 調査対象 20歳以上男女モニター  
(宮城県・福島県に居住し、2021年2月13日の地震発生時に同県内にいた人)
- 有効回答 宮城県・福島県 各500サンプル割付回収(全1,000サンプル回収)
- 調査内容
  - ①2021年2月13日 福島県沖を震源とする地震について  
地震発生時の状況/被害状況/避難状況/災害への備え・購買 など
  - ②2011年3月11日 東日本大震災について  
被害状況/記憶(経験)について/子どもたちと震災について話し合う機会  
震災への関心/経験や教訓の風化について など
- 調査期間 2021年(令和3年)2月24日(水)配信開始~2月28日(日)調査終了
- 調査主体 株式会社サーベイリサーチセンター  
SRC情報総研
- 監修・協力 東北大学 災害科学国際研究所 准教授 佐藤翔輔

## 2. 回答者のプロフィール

※回答条件:宮城県・福島県に居住し、2021年2月13日の地震発生時に同県内にいた人

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
宮城県	男性	50	50	50	50	50	250
	女性	50	50	50	50	50	250
福島県	男性	50	50	50	50	50	250
	女性	50	50	50	50	50	250
全 体		200	200	200	200	200	1,000

## 3. 本資料の見方

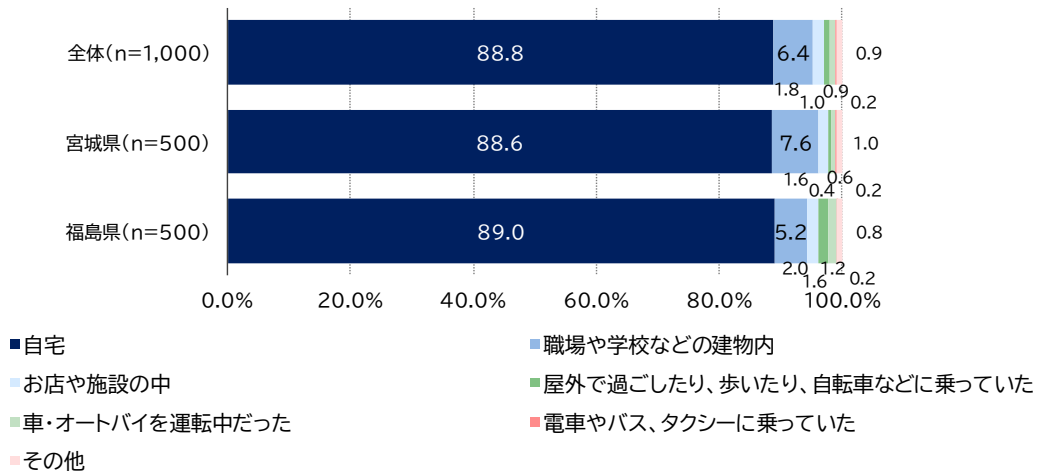
- nと表記がある数値は、構成比(%)算出の基数(調査数)である
- 構成比(%)は、小数点第二位を四捨五入しており、合計が100%にならない場合がある
- M.A.と表記がある設問は、多肢式(複数回答可)のため、合計は100%以上となる
- 回答数が0(皆無)の選択肢は、グラフ中の構成比の表記を省略している場合がある

## 4. 調査結果の概要

### 2月13日の福島県沖地震について

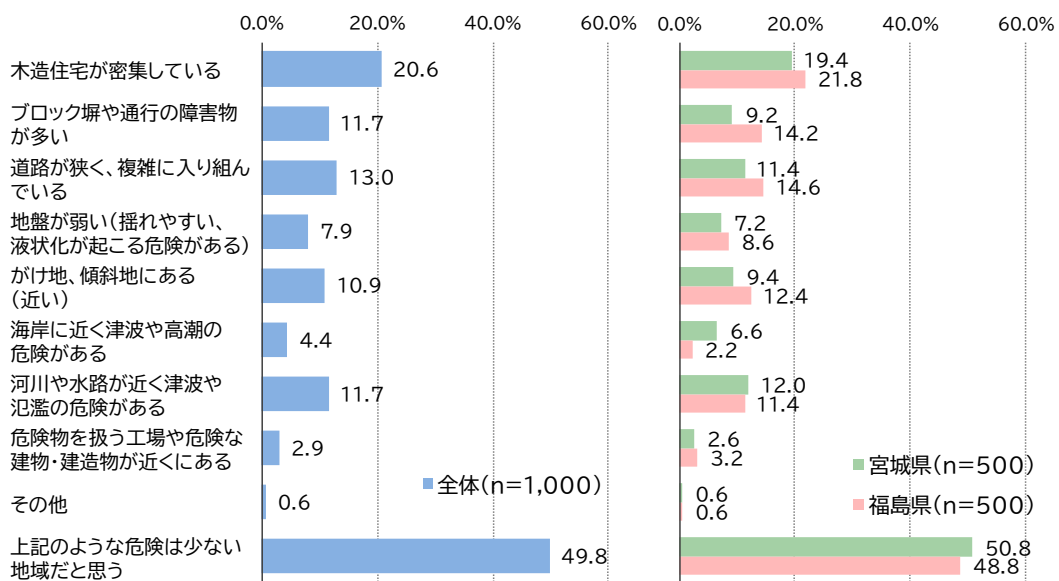
#### (1)地震発生時にいた場所

地震発生時(2021年2月13日(土)23時8分頃)は、あなたはどちらにいましたか。(回答は1つだけ)



#### (2)地震発生時にいた場所の危険【M.A.】

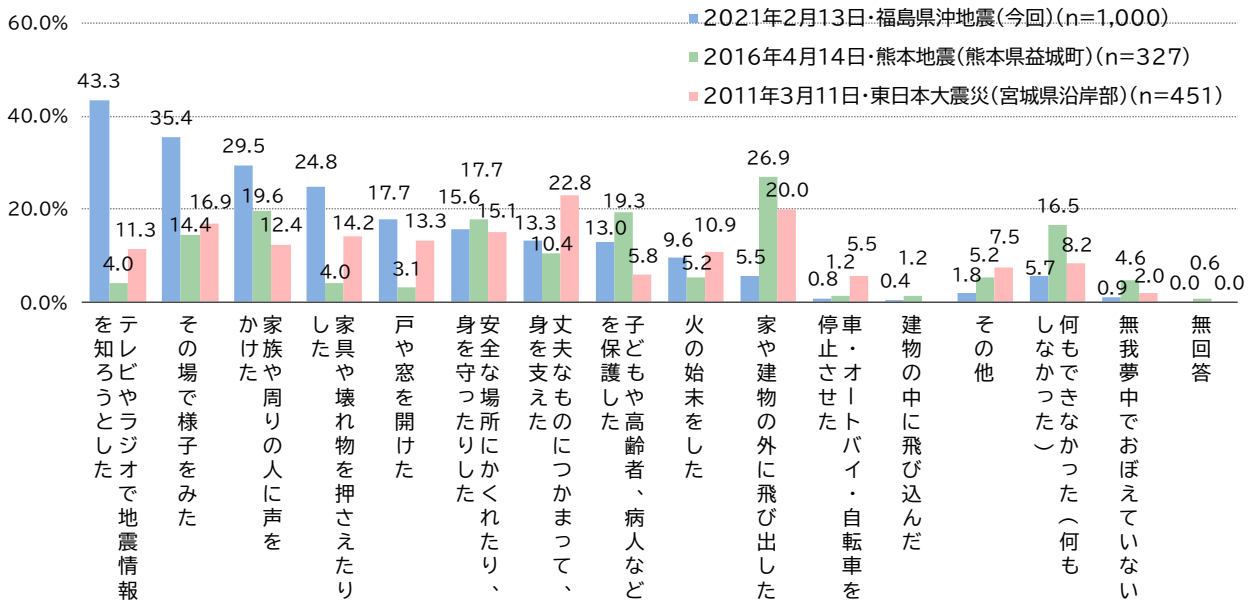
その場所には、以下のような危険はありましたか。(あてはまるものすべて)



(3)地震の最中にとっさにしたこと【M.A.】

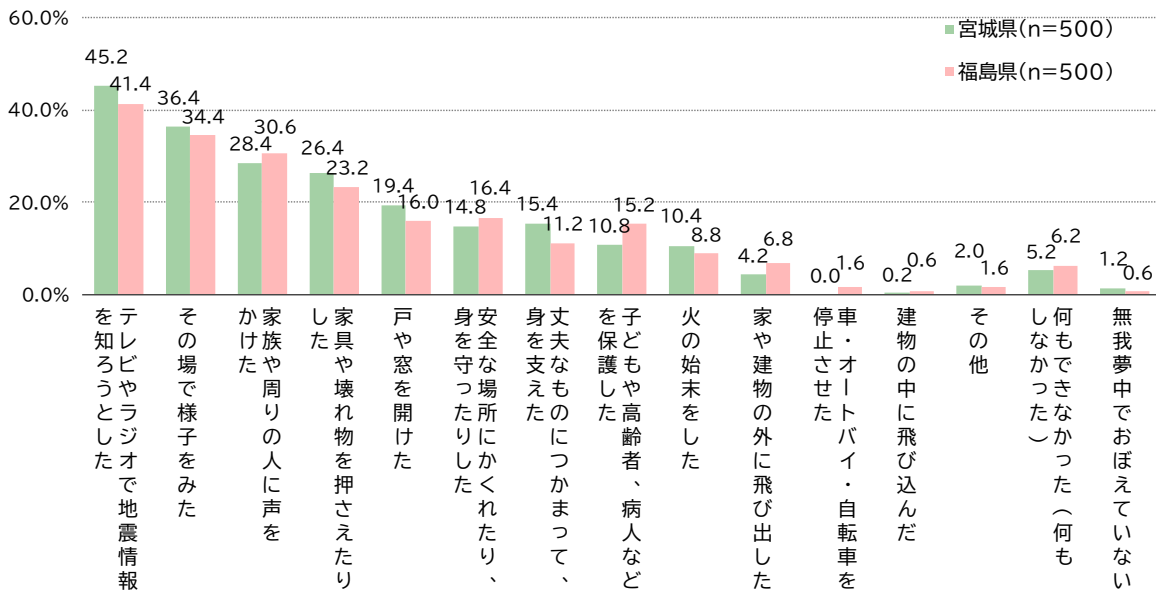
この地震の最中(揺れている間)、とっさに何をしましたか。(あてはまるものすべて)

地震の最中にとっさにしたこと(過去の地震調査との比較)



※「建物の中に飛び込んだ」は、2021年2月13日・福島県沖地震(今回)及び2016年4月14日・熊本地震(熊本県益城町)の調査のみの選択肢

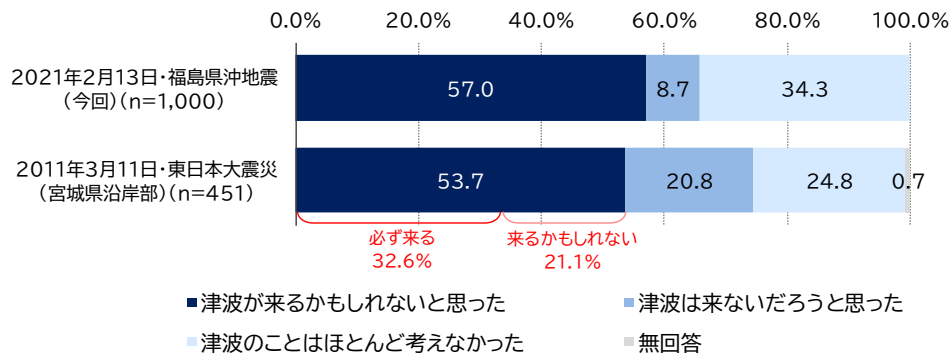
地震の最中にとっさにしたこと(居住地別)



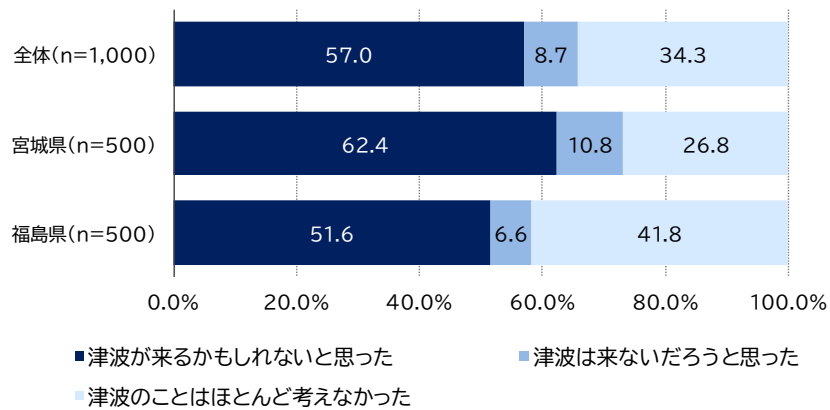
(4)地震の最中や直後に津波のことを考えたか

あなたは、この地震の最中や直後に、津波のことを考えましたか。(回答は1つだけ)

地震の最中や直後に津波のことを考えたか(過去の地震調査との比較)

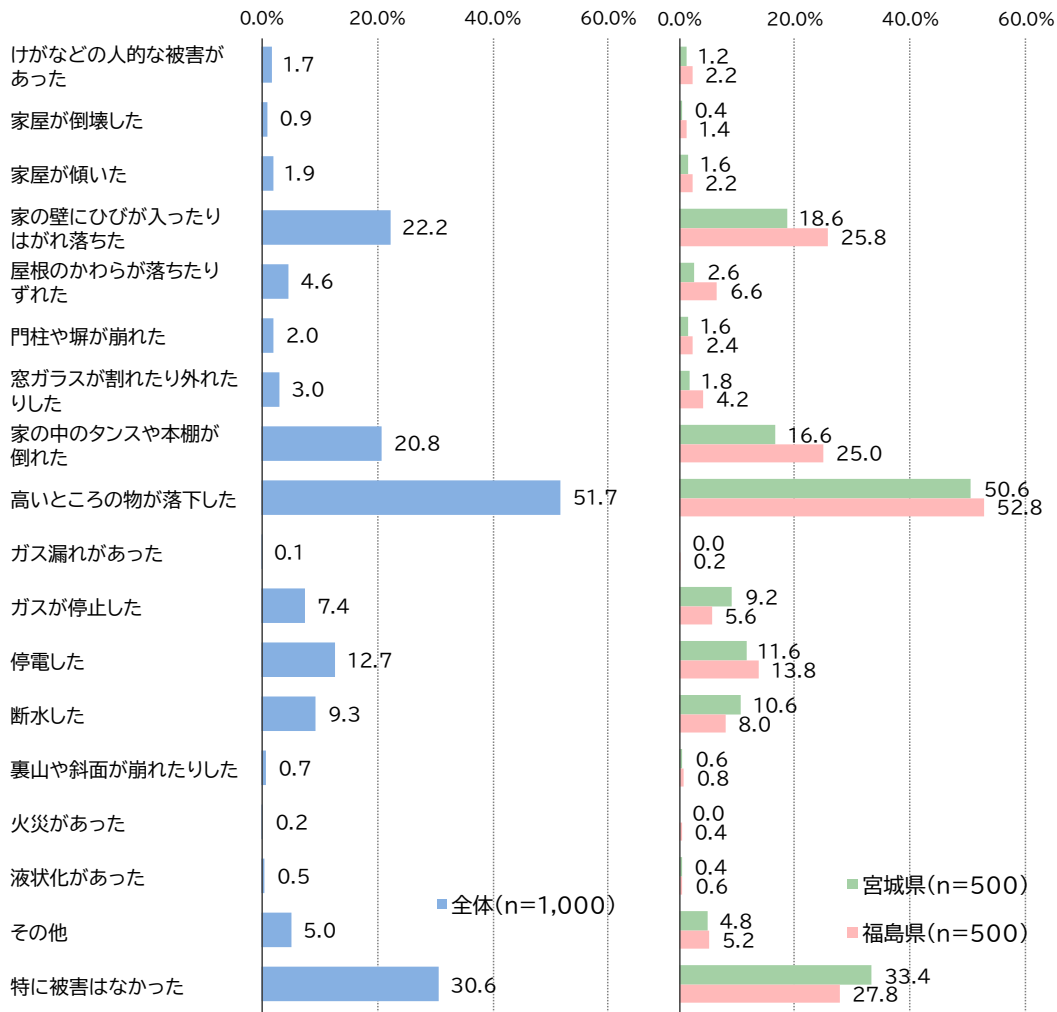


地震の最中や直後に津波のことを考えたか(居住地別クロス)



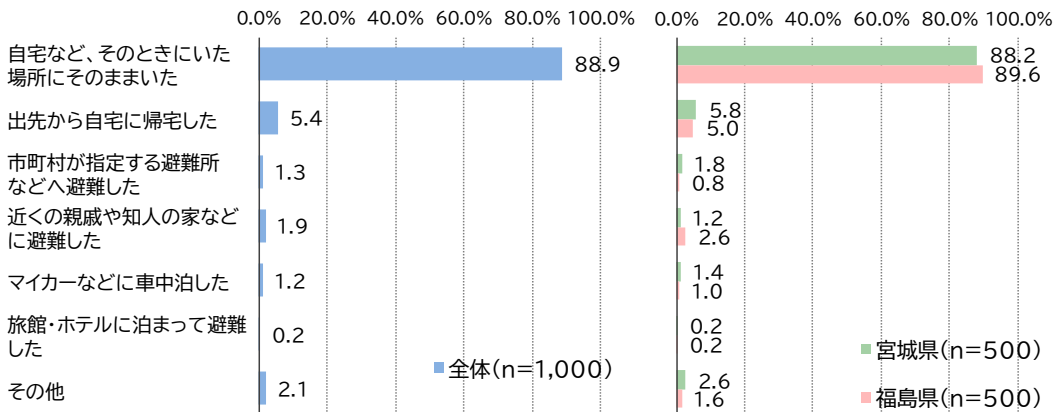
(5)地震による自宅への被害【M.A.】

この地震によって、ご自宅にはどのような被害がありましたか。(あてはまるものすべて)



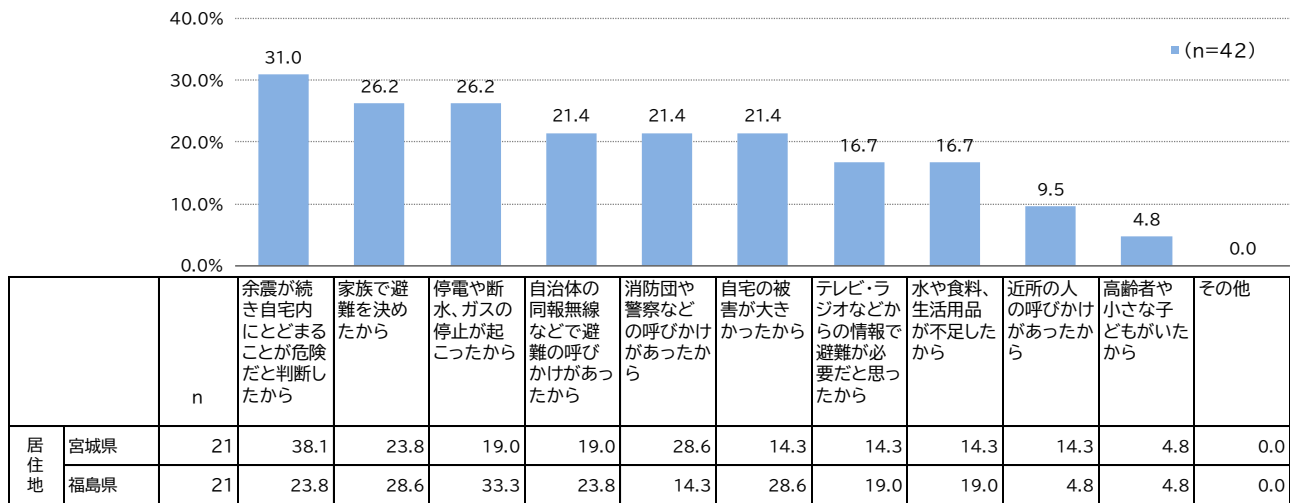
(6)地震発生時にいた場所からの避難【M.A.】

地震の発生時にいた場所から、避難所などに避難しましたか。(あてはまるものすべて)



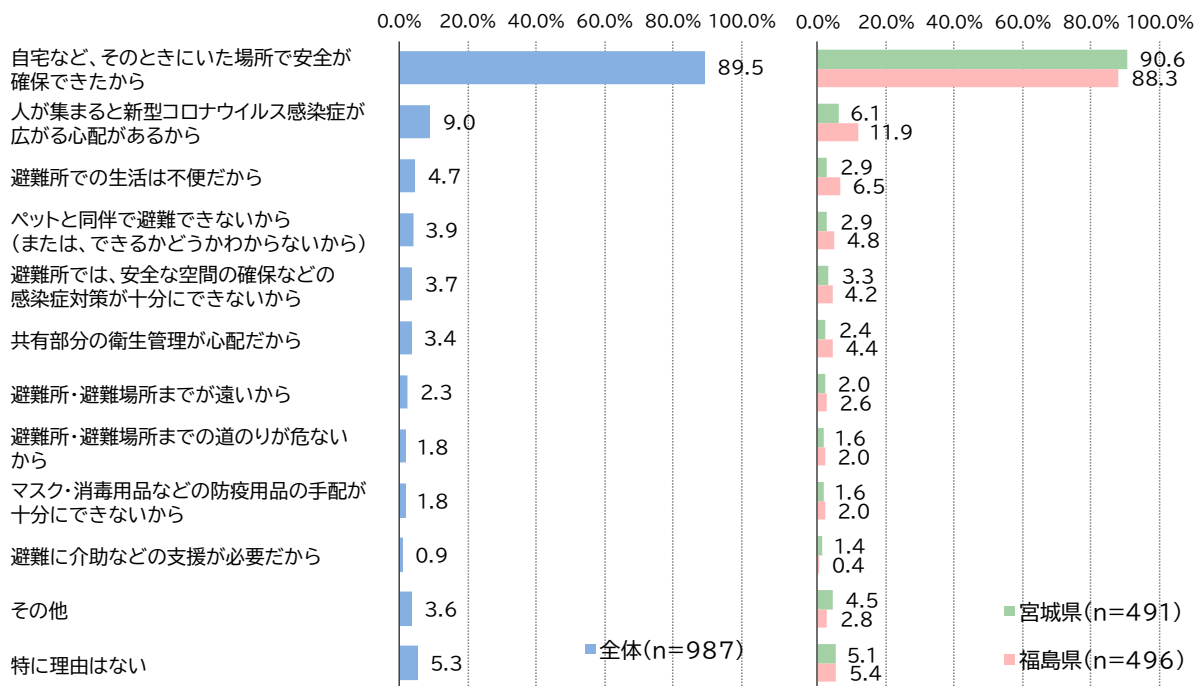
(7)避難をしたきっかけ【M.A.】

【自宅やそのときにいた場所以外への避難をした方に】  
 どのようなことがきっかけで、避難を決めましたか。(あてはまるものすべて)



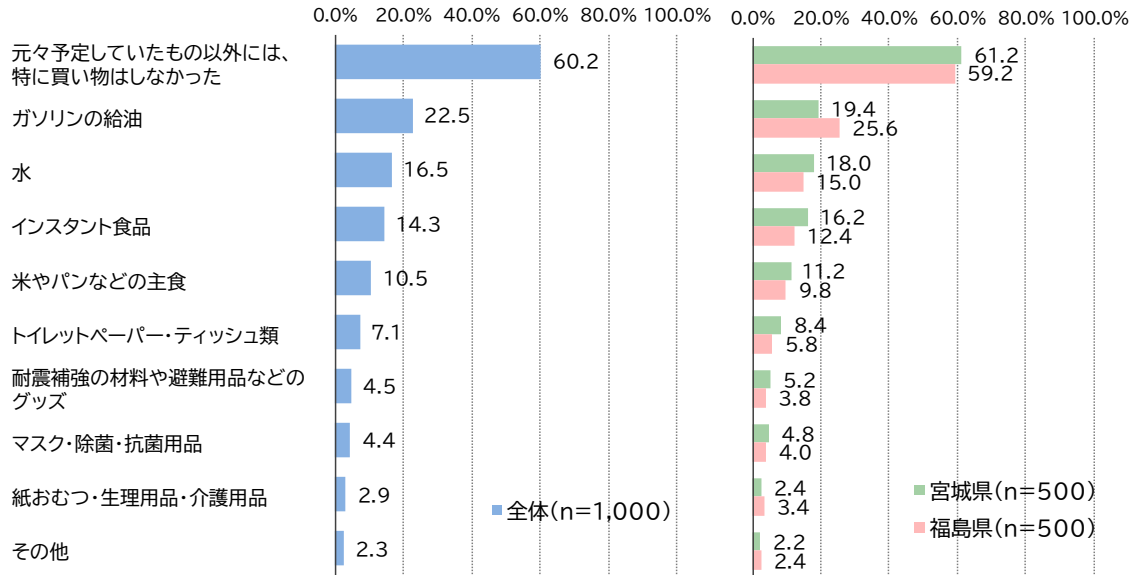
(8)避難所などに避難しなかった理由【M.A.】

【避難所への避難をしなかった方に】  
 市町村が指定する避難所などに避難しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべて)



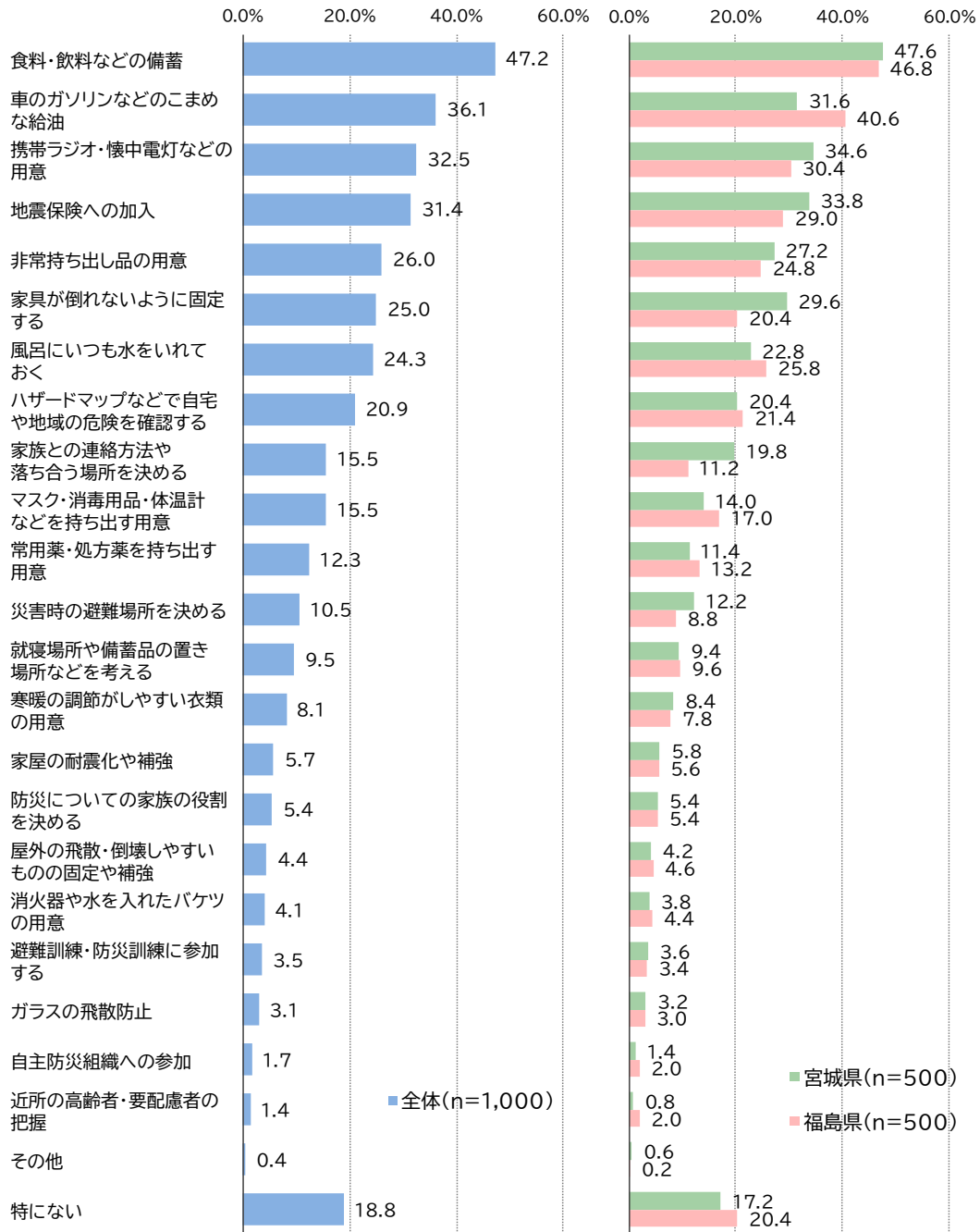
(9)地震の当夜から翌日に余震などに備えて買い物をしたものの【M.A.】

今回の地震の当夜から翌日に、その後の余震などに備えて念のため、買い物をしたものはありますか。  
(あてはまるものすべて)



(10)災害への備えとして実施していたこと【M.A.】

ご自宅では、災害への備えとしてどのようなことを行っていましたか。(あてはまるものすべて)

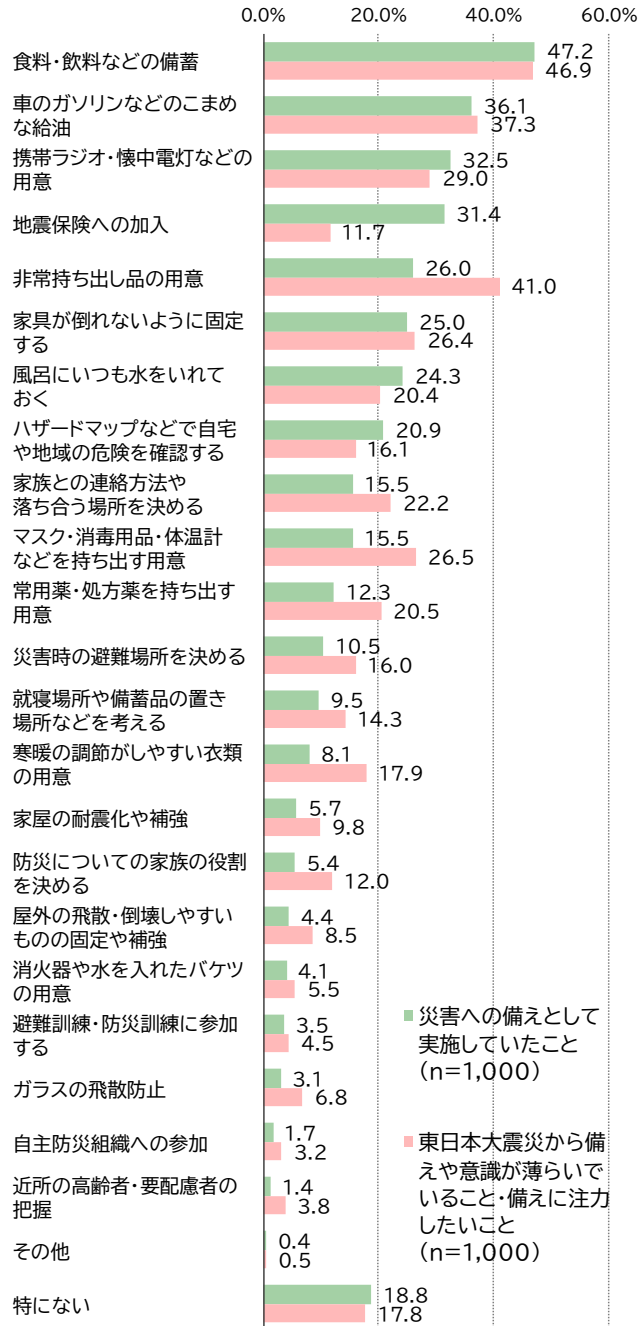




(11)東日本大震災から備えや意識が薄らいでいること・備えに注力したいこと【M.A.】

2011年の東日本大震災から10年を経て、備えや意識が薄らいでいたと感じたり、改めて備えに力を入れたいと感じた項目は何ですか。(あてはまるものすべて)

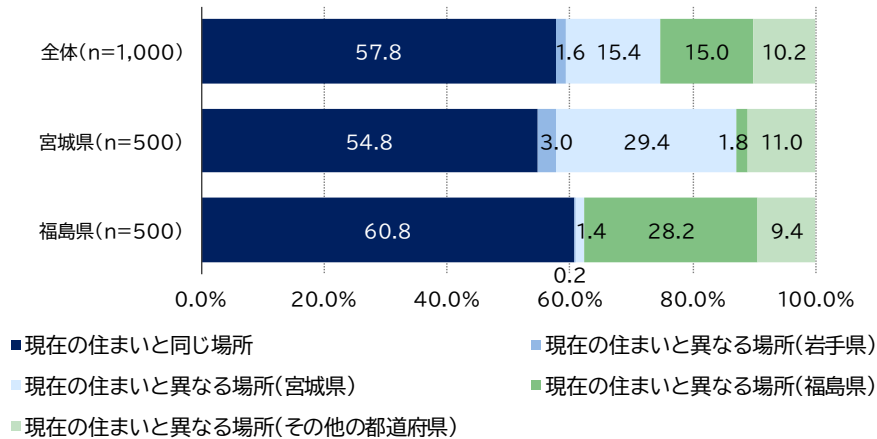
東日本大震災から備えや意識が薄らいでいること・備えに注力したいこと  
 (「(10)災害への備えとして実施していたこと」との比較)



## 東日本大震災について

### (12) 東日本大震災当時の住まいの地域

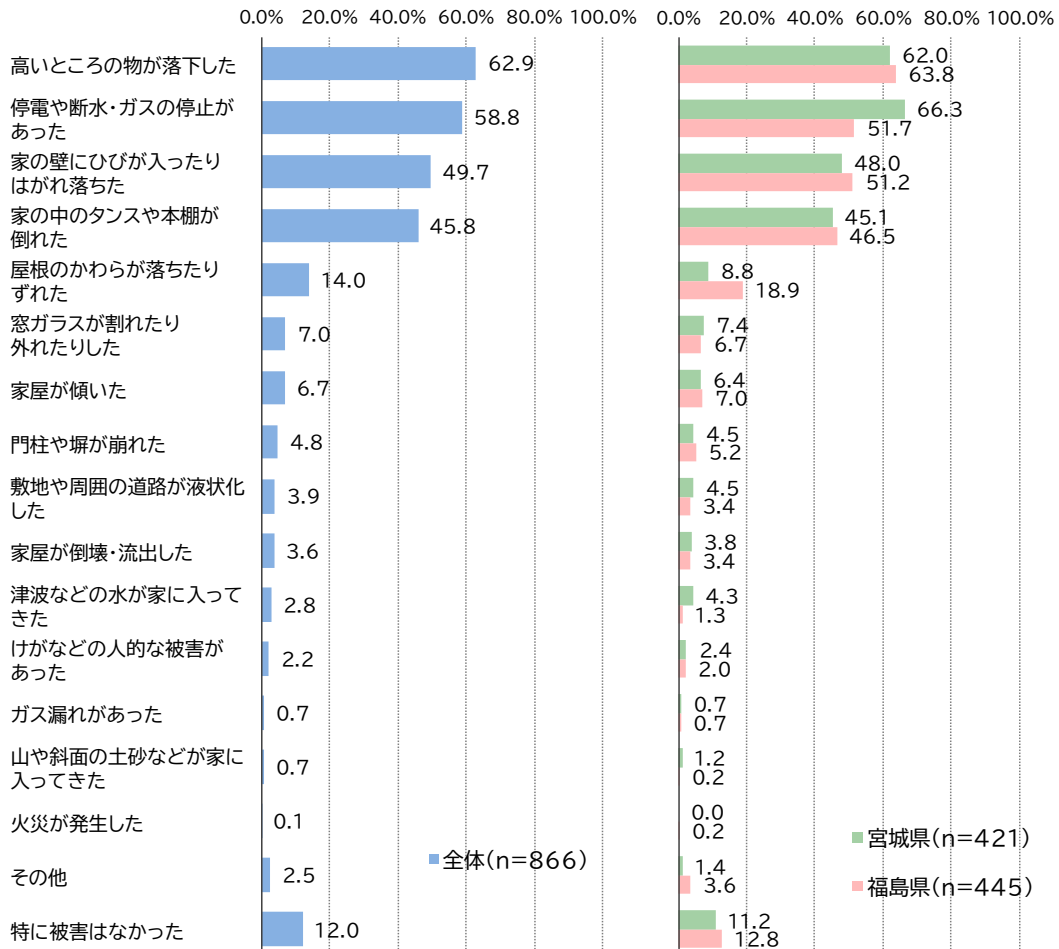
ここからは、2011年3月11日の東日本大震災当時のことをおたずねします。  
2011年(平成23年)3月11日、東日本大震災が発生した際には、お住まいの地域は以下のどちらでしたか。  
(回答は1つだけ)



### (13) 東日本大震災による自宅の被害状況【M.A.】

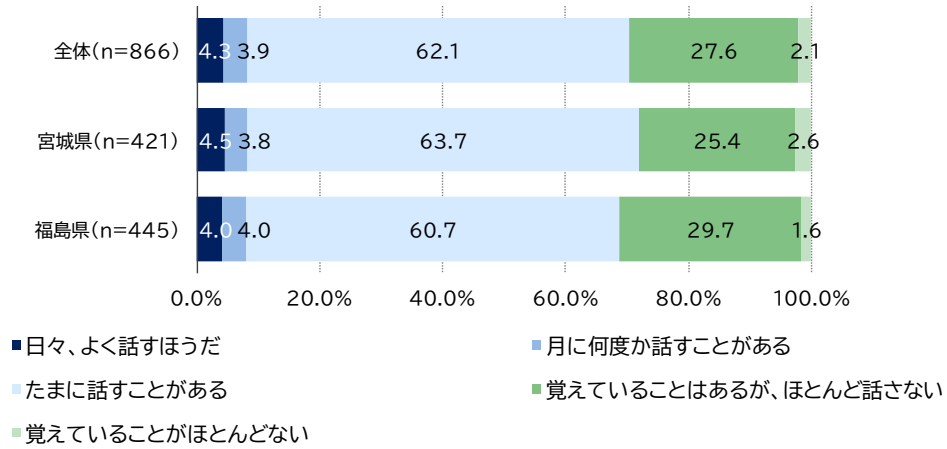
東日本大震災発生当時、あなたのご自宅では、どのような被害がありましたか。(あてはまるものすべて)

※東日本大震災当時と同じ県内に居住している人を抽出して分析(以降同様)



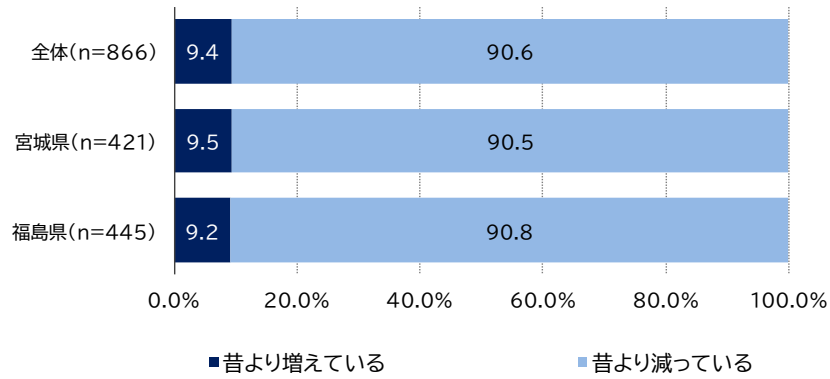
(14)東日本大震災の記憶(経験)について自ら話す頻度

あなたは、東日本大震災の記憶(経験)について、自ら話すことは、どの程度ありますか。(回答は1つだけ)



(15)東日本大震災の記憶(経験)について自ら話す頻度の増減

あなたが、東日本大震災の記憶(経験)について、自ら話すことは、昔と比べて増えましたか、それとも減りましたか。(回答は1つだけ)

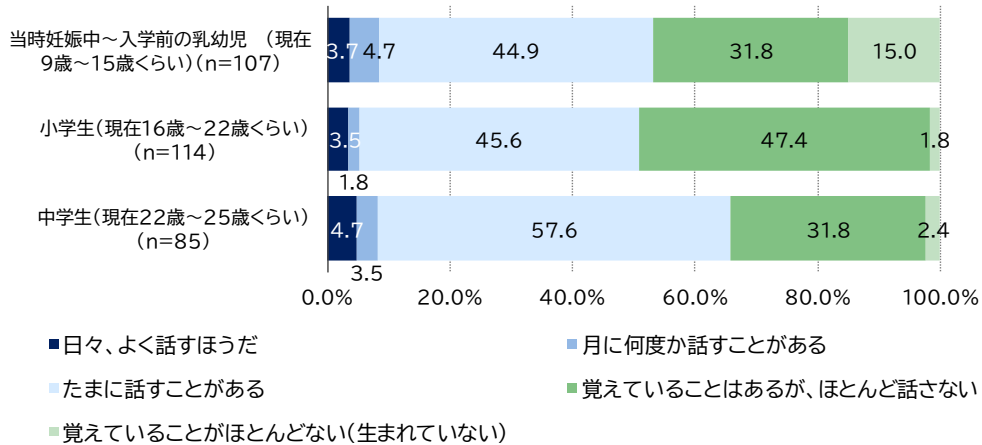


(16)東日本大震災の記憶(経験)を子ども\*が話す頻度

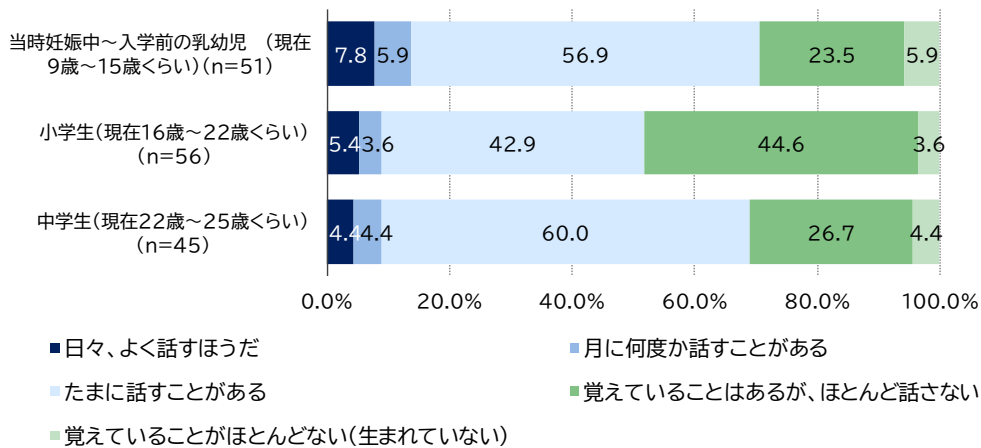
東日本大震災の記憶(経験)について、そのお子さん\*たちがご家庭で話されることは、どの程度ありますか。(それぞれ1つずつ)

※東日本大震災ときに妊娠中～中学生以下だった子ども

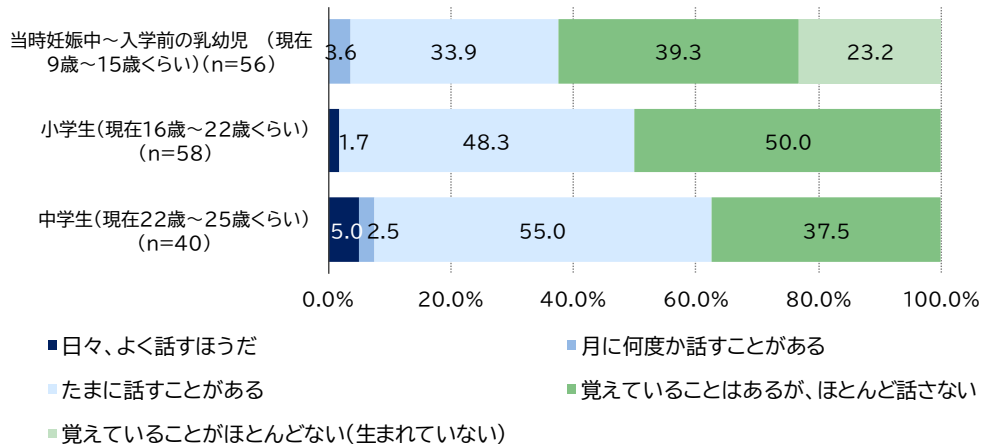
東日本大震災の記憶(経験)を子どもが話す頻度(全体)



東日本大震災の記憶(経験)を子どもが話す頻度(宮城県)



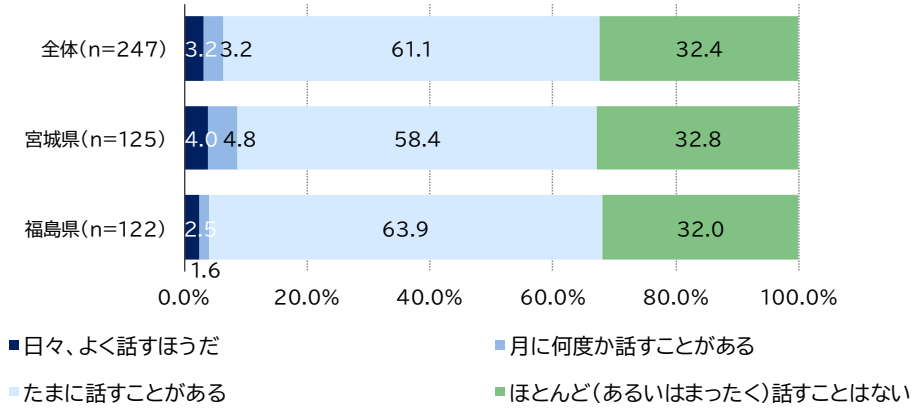
東日本大震災の記憶(経験)を子どもが話す頻度(福島県)



(17)東日本大震災について子ども\*に伝えたり話し合ったりする頻度

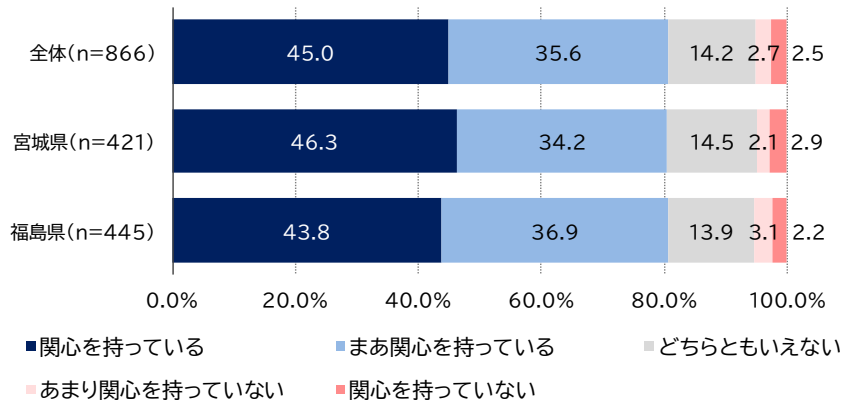
あなたご自身が、東日本大震災について子ども\*に伝えたり、話し合ったりすることはありますか。(回答は1つだけ)

\*東日本大震災当時に妊娠中～中学生以下だった子ども



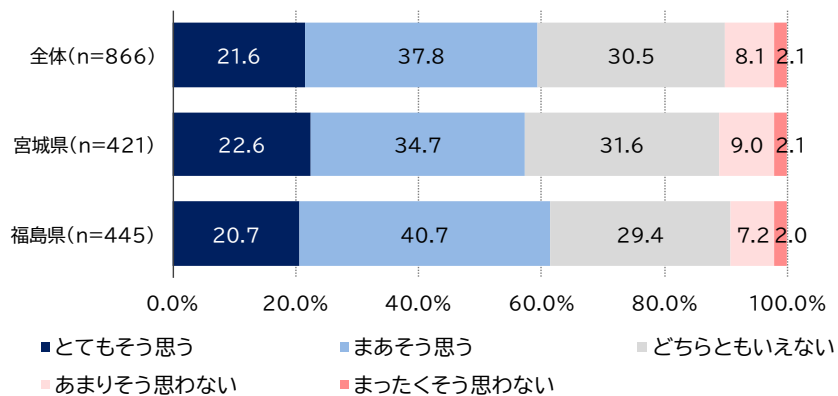
(18)東日本大震災への関心

あなたは、東日本大震災について、関心を持っていますか。(回答は1つだけ)



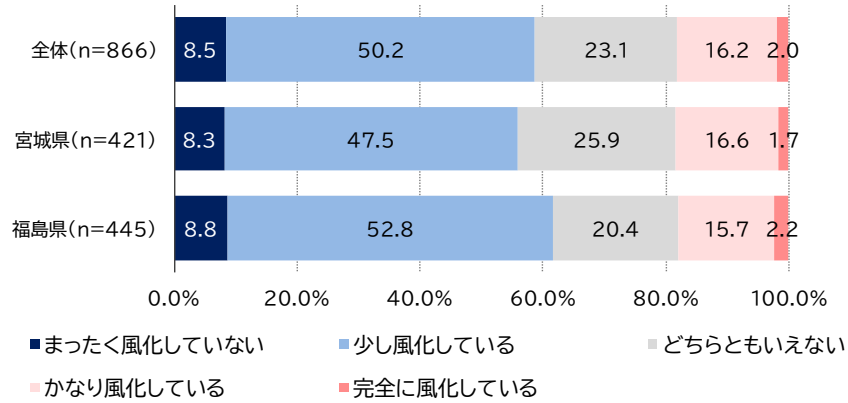
(19)「東日本大震災の経験や教訓」についてもっと知りたいか

あなたは、「東日本大震災の経験や教訓」について、もっと知りたいと思いますか。(回答は1つだけ)



(20)東日本大震災の経験や教訓が「風化」していると思うか

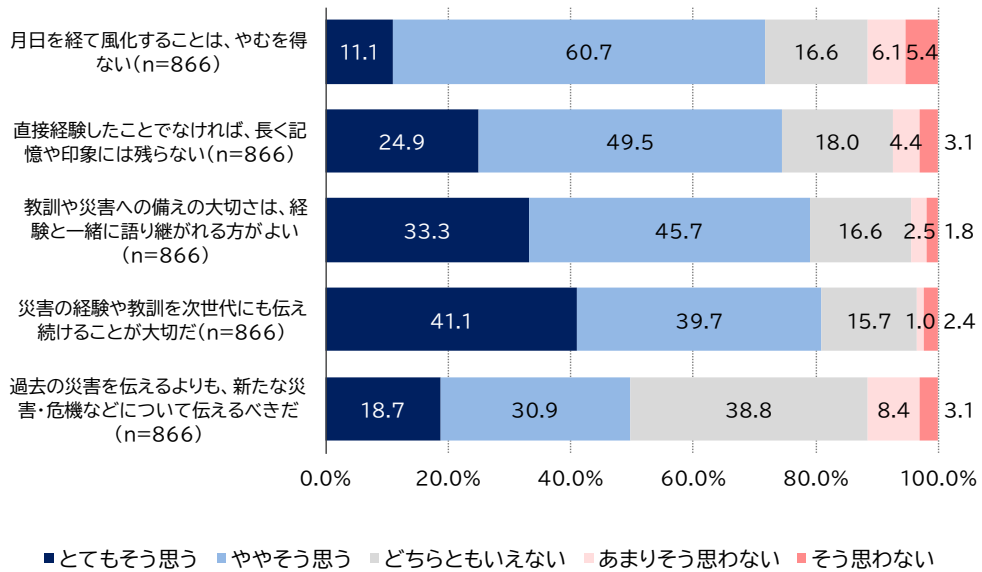
あなたの中で、東日本大震災の経験や教訓が「風化」していると思いますか。(回答は1つだけ)  
 ※風化=記憶や印象が月日と共に薄れていくこと



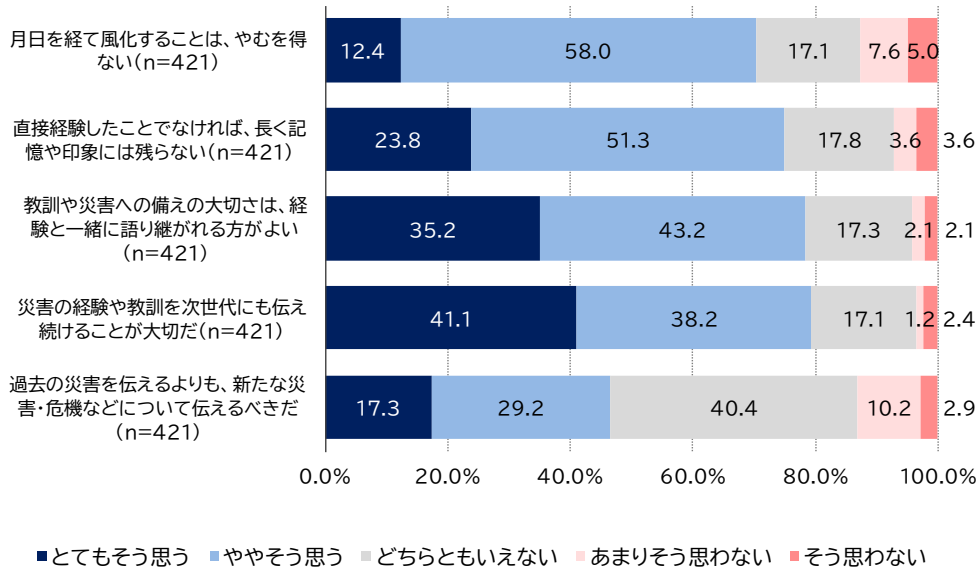
(21)東日本大震災の経験や教訓の「風化」をどのように感じるか

あなたは、東日本大震災の経験や教訓の「風化」についてどのように感じますか。(それぞれ1つずつ)

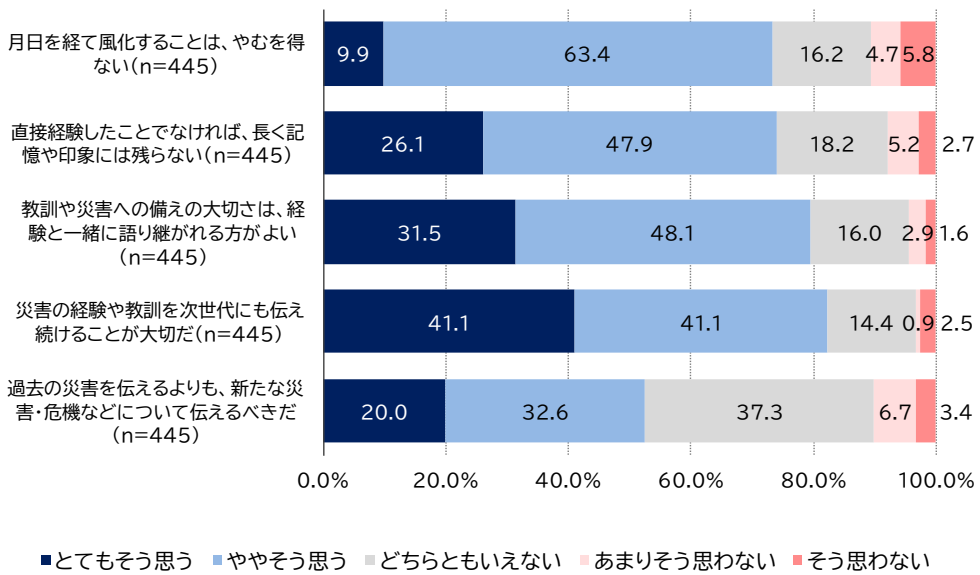
東日本大震災の経験や教訓の「風化」をどのように感じるか(全体)



東日本大震災の経験や教訓の「風化」をどのように感じるか(宮城県)



東日本大震災の経験や教訓の「風化」をどのように感じるか(福島県)



---

## 会社概要

- 会社名 株式会社サーベイリサーチセンター
- 所在地 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号
- 設立 1975(昭和50)年2月
- 資本金 6,000万円
- 年商 74億円(2019年度)
- 代表者 代表取締役 藤澤 士朗、長尾 健、石川 俊之
- 社員数 社員271名、契約スタッフ456名 合計727名(2020年3月1日現在)
- 事業所 東京(本社)、札幌、盛岡、仙台、静岡、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、福岡、熊本、那覇
- 主要事業 世論調査・行政計画策定支援、都市・交通計画調査、マーケティング・リサーチ
- 所属団体 日本世論調査協会  
日本マーケティング・リサーチ協会(JMRA)  
日本災害情報学会  
交通工学研究会  
日本観光振興協会 他
- その他 ISO9001 認証取得(2000年6月)  
プライバシーマーク付与認定(2000年12月)  
ISO20252 認証取得(2010年10月)  
ISO27001 認証取得(2015年11月)※  
※認証区分及び認証範囲：
  - ・MR部及びGMR部が実施するインターネットリサーチサービスの企画及び提供
  - ・全国ネットワーク部及び沖縄事務所が実施する世論・市場調査サービスの企画及び提供

## 本件に関するお問合せ先

株式会社サーベイリサーチセンター <https://www.surece.co.jp/>

- 広報担当 松下 正人 E-mail:src\_support@surece.co.jp  
品質部 TEL:03-3802-6779 FAX:03-3802-6729
- 調査担当 岩崎 雅宏 E-mail:iwa\_m@surece.co.jp  
営業企画本部 TEL:03-3802-6727 FAX:03-3802-7321
- 調査結果の引用にあたっては、調査主体名として「株式会社サーベイリサーチセンター」を必ず明記して利用してください
- 調査結果の無断転載・複製を禁じます
- 本紙に記載している情報は、発表日時点のものです